【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公開番号】特開2016-156030(P2016-156030A)
【公開日】平成28年9月1日(2016.9.1)
【年通号数】公開・登録公報2016-052
【出願番号】特願2016-115546(P2016-115546)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｊ 131/00 (2006.01)
Ｃ０９Ｊ 175/04 (2006.01)
Ｃ０９Ｊ 7/20 (2018.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｊ 131/00
Ｃ０９Ｊ 175/04
Ｃ０９Ｊ 7/02 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成29年11月16日(2017.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アクリル重合体（Ａ）、多官能イソシアネート化合物（Ｂ）およびステロイド骨格を有する化合物（Ｃ）を含んでなる粘着剤組成物であって、
アクリル重合体（Ａ）が、水酸基および／又はカルボキシル基を有するアクリル重合体であり、アクリル重合体（Ａ）１００質量部に対してステロイド骨格を有する化合物（Ｃ）を０．１～２０質量部含み、
多官能イソシアネート化合物（Ｂ）中のイソシアナト基と、アクリル重合体（Ａ）中の水酸基および／又はカルボキシル基、ステロイド骨格を有する化合物（Ｃ）中の水酸基の合計のモル数の比（イソシアナト基／水酸基およびカルボキシル基）が、０．０５～１．５であることを特徴とする粘着剤組成物（但し、自動車内装材用粘着剤組成物は除く）。
【請求項２】
ステロイド骨格を有する化合物（Ｃ）が、水酸基を有するステロイド骨格を有する化合物（Ｃ１）であることを特徴とする請求項１記載の粘着剤組成物。
【請求項３】
ステロイド骨格を有する化合物（Ｃ）が、第二級水酸基を有するステロイド骨格を有する化合物（Ｃ１－２）であることを特徴とする請求項２記載の粘着剤組成物。
【請求項４】
シート状基材の少なくとも一方の面に、請求項１～３いずれか記載の粘着剤組成物から形成されてなる粘着剤層が積層されてなる粘着シート。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】

本発明者らは、上記課題を解決するため、鋭意検討した結果、本発明に達した。

すなわち、本発明は、アクリル重合体（Ａ）、多官能イソシアネート化合物（Ｂ）およびステロイド骨格を有する化合物（Ｃ）を含み、多官能イソシアネート化合物（Ｂ）中のイソシアナト基と、アクリル重合体（Ａ）中の水酸基および／又はカルボキシル基、ステロイド骨格を有する化合物（Ｃ）中の水酸基の合計のモル数の比（イソシアナト基／水酸基およびカルボキシル基）が、０．０５～１．５である粘着剤組成物であって、アクリル重合体（Ａ）が、水酸基および／又はカルボキシル基を有するアクリル重合体であり、アクリル重合体（Ａ）１００質量部に対してステロイド骨格を有する化合物（Ｃ）を０．１～２０質量部含んでなることを特徴とする粘着剤組成物（但し、自動車内装材用粘着剤組成物は除く）に関する。